

地域密着型金融推進計画の進捗状況について

平成26年度具体的な施策の進捗状況

平成15年4月以降2回にわたるアクションプログラム、これを引き継いだ平成19年8月改正の中小企業地域金融機関向け監督指針及び、平成22年12月24日公表の「金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン」に沿った地域密着金融の取り組みとして、下記を実施しました。

1. コンサルティング機能の発揮として顧客企業のライフステージに応じた経営改善支援に取り組みました。

- (1) 要注意先債権等の健全化については、20先を選定し取り組みました。
20先のうち1先については、愛媛県中小企業再生支援協議会と協調し取り組みました。
- (2) 役員が大口与信先を四半期毎に訪問し、営業店長が要管理先・破綻懸念先と面談し、取引先企業の実態を把握し資金ニーズに迅速的確に応えることで資金繰りの円滑化や、業況の変化を早期に把握する等、不良債権発生防止に取り組みました。
- (3) 全営業店に金融相談窓口を設置し、問題解決・返済条件緩和等により積極的に中小企業の再生支援へ取り組みました。
平成26年度の返済条件の緩和先は22先47件1,171百万円となりました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画として、地域経済全体の活性化を図るため無担保・無保証融資を柱とし成長分野の育成や顧客企業の事業継続及び拡大に取り組みました。

- (1) 県の制度融資「緊急経済特別支援資金」「小口零細企業資金」の販売。
- (2) とうしんフリーローン「自由生活」・とうしん個人事業者向けローン「仕事生活」の積極的な推進。
- (3) 地域中小企業者の事業振興に資するため、経営に必要な資金を当座貸越の方法によりカードを用いて反復継続かつ安定的に供給する「とうしんビジネスカードローン」の積極的な推進。
- (4) 動産・債権担保融資（ABL）を活用した成長分野への積極的な資金提供。
- (5) 補助金・助成金制度活用支援。
- (6) 商工会議所、東予産業創造センター、愛テクフォーラム、地公体、金融機関等「産・学・官・金」の連携強化。

(単位：百万円)

商品名	信用保証協会	自由生活 仕事生活	ビジネス カードローン	成長分野		補助金 助成金	
					ABL		
成果	口数	88	275	46	14	10	3
	金額	445	297	155	866	402	12

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信として、地域活性化に繋がる多様なサービスの提供に取り組みました。

(1) 地域社会への貢献・還元として、下記の優遇金利商品を販売しました。

(単位：百万円)

商品名	定期預金 「福路羽Ⅱ」	定期預金 「福路羽Ⅲ」	定期預金 「満始峰」	定期積金 「富む富む」	定期積金 「復興応援定期積金」	
商品内容	金利上乗せ	金利上乗せ	金利上乗せ	金利上乗せ	東日本大震災復興応援	
成果	口数	2,078	1,714	865	486	268
	金額	3,626	3,301	1,227	895	505

* 定期積金の金額欄は契約額を記載しております。

(2) 地域・お客様への貢献として、下記の施策に取り組みました。

- ・年金受給者による親睦旅行
- ・営業店での年金相談会実施
- ・年金受給者への宅配サービス・見守り活動
- ・「信用金庫の日」による地域の清掃活動
- ・全営業店統一ロビー展「敬老の日」似顔絵展を開催
- ・「検索連動型広告」入門セミナーを開催
- ・工業系製造業者向け取引機会拡大支援への参加申請支援
- ・「2015 食品ビジネス商談会」への参加申請支援
- ・ふるさと応援隊にて地域活動への支援
- ・「とうしんサイクリングローン」の取扱いを開始
- ・四国八十八カ所遍路休憩所「とうしん小松庵」寄贈
- ・フラダンス部の新設
- ・サイクリング部の新設

今後も地域金融機関として、地域密着型金融への取組みを通じて、地域経済の活性化や健全な発展に努めてまいります。